

ラボの課題

下津井・児島の地域活性化のための企画・提案

連携先

倉敷市労働雇用政策課, 児島商工会議所, 児島産業振興センター, 高田織物(株), 下津井電鉄(株)

春学期の活動報告

- ・ 児島についてインターネット等で検索し、情報収集を行った。
- ・ SWOT分析を行い児島・下津井に対するイメージや特徴を挙げた。
- ・ SWOT分析の結果をもとに実際に現地にいきイメージが一致しているのか調査した。
- ・ クロス分析を行い具体的な取り組み策を考えた。
- ・ 児島地区の企業分析を行った。

SWOT分析

ジーンズストリートは児島は国産 ジーンズ発祥の地 ボートレース：盛ん 瀬戸大橋：香川県からの入り口 繊維業：有名で盛んである デニム自転車がある	S	O
交通手段が少ない 学生服の需要が減っている 児島自体の知名度が低い	W	T

企業分析

事業内容

本社：下津井電鉄株式会社
従業員数：220名
年間売上：約65億円（令和6年度）

主な事業

・ バス事業（路線バス、高速バス、貸切バスなど）

多角経営

・ 住宅事業
・ 開発・不動産事業
・ SDGs・地域貢献
・ 倉敷児島塩結びプロジェクト
「塩田王 野崎家の塩」（ナイカイ塩業と共同）



児島フィールドワーク 6月6日（土）

- ◆ 児島産業振興センター
（児島の関係者の方のご講演）
 - ・ 児島商工会議所
 - ・ 児島産業振興センター
 - ・ 下津井電鉄(株)
- ◆ フィールドワーク
 - ・ ジーンズストリート
 - ・ 旧野崎家住宅
 - ・ 下津井電鉄児島駅跡

[感想]

- 児島駅周辺で歩道に児島を代表する有名な石があったり、駅の中に児島の見所を紹介するパネルがあった。
- 徒歩圏内で周れる観光地が多く、下津井電鉄の力を入れていてバスの利用が改善されていた。



今後の計画・目標

- 更なるフィールドワークを通じて、児島・下津井についての知識をより深める。
- 地元企業と連携し、地域活性化につながるプロジェクトを行う。

担当教員：守本 英雄、藤原 美佳

ポスター制作：加藤佑莉奈 阿部朱華 村上智教 宮川華怜 上萩原颯

ラボの課題

下津井・児島の地域活性化のための企画・提案

連携先

倉敷市労働雇用政策課, 児島商工会議所, 児島産業振興センター, 高田織物(株), 下津井電鉄(株)

春学期の活動報告

- ・ 児島下津井について調べてプレゼンを行った
- ・ 児島下津井を調べswot分析をした
- ・ 6月6日にフィールドワークを実施



SWOT分析

S

・旧野崎家の家の塩のブランドとして格付けしているから扱いやすい
・ジーンズストリート唯一性で集客しやすい(国産発祥の地だから)

O

・児島学生服資料館では日本の文化があり制服文化に憧れている外国人観光客がいるから

W

・バスと電車の本数が少ないから車を使いがちになって下津井電鉄の電鉄会社の売り上げが低下

T

・オーバーツーリズム化で満足度が低下と地元の環境破壊を引き起こす可能性がある



【フィールドワーク】

- 旧下津井電鉄跡
昔の建物がそのまま残っていて歴史を感じた。
- ジーンズストリート
グッズ等が全てジーンズで児島にきたと感じた。
- 旧野崎家住宅
昔の家具等があり、庭園がとても綺麗だった。

【まとめ】

若者や人々の減少で児島への魅力が伝わってないので、宿泊施設や若者が楽しめる施設、児島への交通の便をより改善するべきだと思います。

今後の計画・目標

これからの児島の人口や若者の増加に向けて企業とともに商品を開発したり新しい観光スポット等を作り児島の復興に貢献できるように頑張りたい。

担当教員：守本 英雄、藤原 美佳

ポスター制作：劉恒志、藤井柊賀、田邊雅貴、寺井颯、門内權生

ラボの課題

下津井・児島の地域活性化のための企画・提案

連携先

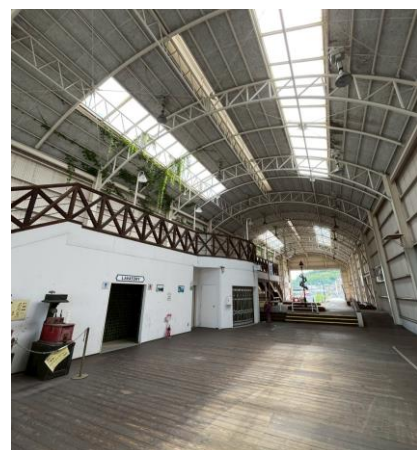
倉敷市労働雇用政策課, 児島商工会議所, 児島産業振興センター, 高田織物(株), 下津井電鉄(株)

春学期の活動報告

- ・ 児島・下津井の情報収集
- ・ SWOT分析を行った
- ・ 6月に児島フィールドワークを実施した
- ・ 児島についてクロス分析を行った

クロスSWOT分析

S×O 瀬戸内海観光と児島ジーンズストリートを結ぶ周遊プランを企画。	W×O 児島・下津井を巡った後に、美観地区へ案内する観光ルートを提案。
S×T デニムのファッションショーと過去の制服の試着体験を組み合わせたイベントを開催。	W×T 無料のシャトルバスとスタンプラリーで周遊を促進 →全て集めると景品プレゼント



<予想される課題>

- ・ 運営費やスタッフの確保
- ・ 地域・企業との連携や調整
- ・ 交通・駐車場など受入体制の整備
- ・ 継続的なPRとイベント運営
- ・ 天候や季節による集客の変動

<期待される効果>

- ・ 観光客の滞在時間・消費額の増加
- ・ 下津井への来訪者増加
- ・ 地域企業や商店街との連携強化
- ・ 若者や家族連れにも魅力ある観光地づくりにつながる

今後の計画・目標

これまで児島について学び、地域にはデニムをはじめとする多くの魅力がある一方で、その魅力を十分に発信できていないと感じた。今後は地域の企業や団体と連携しイベントの企画やSNSを活用した情報発信を通じて、児島の魅力をより多くの人に伝えたいと考える。そして、地域経済の活性化と、誰もが訪れたいくなるまちづくりに貢献することを目指す。

担当教員：守本 英雄、藤原 美佳

ポスター制作：小川達也 若宮輝季 山本凌平 秋夕陽 有元大智

ラボの課題

下津井・児島の地域活性化のための企画・提案

連携先

倉敷市労働雇用政策課, 児島商工会議所, 児島産業振興センター, 高田織物(株), 下津井電鉄(株)

春学期の活動報告

- ・ 児島について調べた
- ・ 6月6日に児島ヘフィールドワークを実施した
(児島産業振興センター、ジーンズストリート、旧野崎家住宅、下津井電鉄児島駅跡)
- ・ SWOT分析を作った
- ・ 企業分析を行った(高田織物、ナイカイ塩業、旧野崎家資料館)

〈クロスSWOT分析〉

S×O 「国産ジーンズ発祥の地」 というブランドがある	W×O 若者向けのイベントを増やし 地域の認知度を高める
S×T 20, 30代向けの職人の見学、 体験イベント	W×T デザイナーズインキュベーション を発信し児島に移住・定住をして もらう

〈春学期の活動を通して〉

児島のブランド力を活かし、若者向けのイベントや情報発信を強化することで、地域活性化や移住・定住の促進につながることが分かった。

今後の計画・目標

- ・ フィールドワークで児島、下津井のことについてより深めていく
- ・ 地元企業と協力し、イベント企画、商品開発などを行う。

